

ともしえ

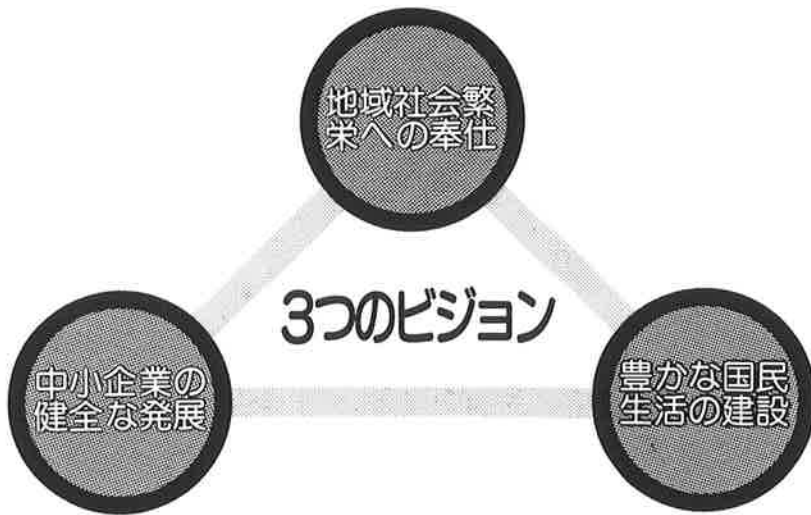
No. 57



■函館商工会議所報■

1985 9月号

行動する
はつらつたる
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

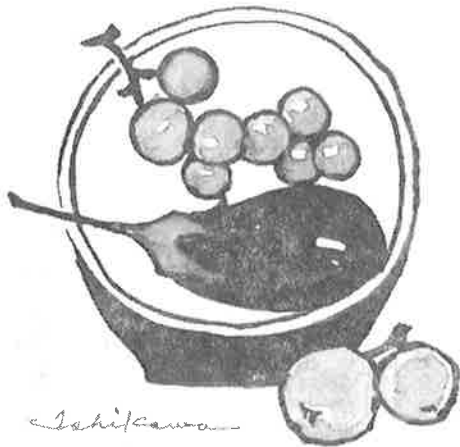


本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	尻岸内支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字木町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

●ともし之・57号目次●

巻頭言	1
会議所だより	2
調査レポート	6
アドバイスコナー	10
寄稿文	12
ご存知ですか	14
事務局日誌	17
新入会員ご紹介	18
ティータム	20
告知板	22



●巻頭言●

かねて依頼していた青函博覧会（仮称）についての基本構想の原案が出来上がりました。これからはこの案を叩き台として準備委員会を早急に設立し、昭和六十三年開催する予定の当市博覧会の計画に対する市民の意見を広く徴集して、次の基本計画策定の準備をして行かなければならぬと考えます。

当市は昭和二十九年に北洋漁業再開記念北海道大博覧会が開催されましたが、その後三十四年ぶりのイベントです。

北海道の黎明の地である函館市を開催母都市として世界一の海底トンネルの営業開始と北海道開道百二十周年を契機に、その記念事業として博覧会の開催を意図するものです。

そのねらいは、二十一世紀へ向けての当地域の発展、活性化のため基盤施設の整備、テクノ産業の発展、交通体系の充実など多様なプロジェクトの起爆剤とするものです。一過性でなく地域開発の基盤を残すべきであると考えます。

構想案では「リゾートピア北海道」を名称とし、メインテーマは「新しい北のリゾート文化の創造」を掲げております。新しい技術と古い知恵を結集した新しいリゾート産業、地域と都市のビジョンを継続的に多面的に発展させて行く各種のイベントや祭りの生き生きとした「祭りの創造」を目指して名づけられました。

このイベントは函館市のため是非成功させねばならない。そのためには市民の意識高揚、理解、共感促進、皆さんで力を合わせて協力することが第一です。一生懸命やりますしう。

所 議 会 だ よ り



青函博(仮称)基本構想まとまる

知事も積極的協力を表明

五月末に函館市と本所が共同で(株)

電通に依頼していた(仮称)青函博

覧会の基本構想がこの度まとまりま

した。この構想は、昭和六十三年に

函館市を開催母都市として青函トン

ネルの営業開始と、北海道開道百二

十周年を契機に、その記念事業とし

て博覧会を開催しようとするもので

す。そのねらいは、二十一世紀へ向

けての北海道・道南地域の発展、活

性化のため、博覧会を長期プロジュ

クトの軸の一つとして位置づけまし

た。とりわけ、北海道における道南

地域の主題である国際観光リゾート

地創造のための基盤整備の充実、テ

クノポリス構想の推進、交通体系の

整備、流通産業経済の活性化と振興

などを要とする考えです。本構想の

あらましは次の通りです。

●博覧会の名称 青函トンネル開業

・開道百二十周年記念「リゾートビ

ア北海道」

●開催地 函館市及び道南地域(二

十六町村)

●メインテーマ 新しい北のリゾー

ト文化の創造

●サブテーマ ☆魅力ある新しい

「国際海洋文化都市」の創造 ☆活

力ある新しいリゾート産業へテキ

・オフ ☆日本へ、日本から。世界

へ、世界から。新しい交流のカタチ

☆情報と交通の新しいネットワーク

キング

●会期 昭和六十三年六月中旬〜八

月末(七十日間)

●会場及び面積 函館ドック跡地・

緑の島・元町周辺 約三十畝

●ペビリオン 未定

●入場者数 百五十万人〜二百万人

●入場料金 平均、千二百円

●予算規模 三十億円〜四十億円

●主催者 北海道・函館市・函館商

工会議所他

以上の通りですが、従来の展示中

心の博覧会(クローズ方式)では

なく、当市の特性をふまえ、「海」

「山」「港」それに豊富な「観光資
源」をフルに生かし、地域ぐるみの
会場(オープン方式)にしなから、
各種イベントを中心にした画期的な
博覧会を考えています。

事業内容としては、①シンボル施
設・モニュメント(博覧会後も残る
施設)、②コンベンション(集会)、
③トランスポートーション(交通関
係イベント)、④物産・見本市、⑤
レジャーイベント(スポーツイベン
ト、文化・芸術イベント、一町村一
イベント)等多彩なイベントを実施
します。

これはあくまでも一つのたたき台
であり、今後、経済界、市民各層の
意見や提案を十分取り入れ、基本計
画、実施計画へ向けて進めていきま
す。会員の皆様のアイデアを寄せて
頂くと同時に、開催実現にあたって
は何かとご支援、ご協力をお願いい
たします。

なお、柴田函館市長と本所川田会
頭は九月二日、横路道知事を訪問し
道の協力を要請、これに対し知事は
積極的協力の意向を表明しました。

道新幹線建設促進など

自民党移動政調会 社会党地域道政懇話会 で本所から要望

自由民主党北海道支部連合会移動

政調会が去る八月二十一日函館国際
ホテルで、また日本社会党北海道本

部及び同道民連合北海道議会議員会
による渡島地域道政懇話会が同二十

八日ホテルアカシヤでそれぞれ開催
され、本所からは加藤副会頭、加藤

専務理事が出席して当面の課題であ
る次のことについて促進方を要望

し、その後懇談しました。

一、北海道新幹線鉄道の建設促進
について

二、北海道縦貫自動車道の建設促
進及び高規格幹線道路建設の

早期実現について

三、函館空港の整備及び国際化の
促進について

四、国立函館複合大学の設置促進
について

五、青函トンネル開通記念博覧会
等事業の実施促進について

六、北海道の新計画基本構想案に

ついて

要望の主旨

北海道新幹線建設促進について

は、本州と北海道を一体化する青函
トンネルは、昭和六十二年完成が

見込まれており、その有効活用を図
る上でも、東北新幹線鉄道が青森ま

で延長（工事は若干遅れる模様です
が着手は確実視されている）された

場合、同時に北海道新幹線鉄道も函
館地域まで乗り入れられるよう特段

の配慮を要望。

なお、函館地域まで乗り入れにつ
いて、立地としては社会資本の集積

が高く、都市機能の施設が整備され
ているなどを事由に「現函館駅まで

乗り入れ」を各界から強く要望され
ている旨、説明をつけ加えた。

北海道縦貫自動車道建設促進につ
いては、従来どおり函館―虻田間の

整備計画路線の昇格と、函館側から
の早期着工を要望。また縦貫自動車

道に連絡する重要な路線として函館
―木古内―江差間を四全総に沿う高
規格幹線道路網計画の策定に組み入
れられるよう、新たにつけ加えた。

函館空港の整備については、年間
利用客百万人を超え、地方基幹空港

として重要な役割りを果たしていま
すが、ますます国際化が進展する

中、この対応と成田空港の代替空港
としての位置づけのため、滑走路延

長（三千メートル）とC・I・Q機
能と施設拡充を要望。

国立函館複合大学の設置について
は、函館地域に現道教育大函館分校

を昇格させ、工学部、海洋学部等を
加えた大学設置を要望。

青函トンネル開通記念博覧会等事
業の実施促進については、本所が昭

和五十五年十一月青函圏経済文化振
興協議会で博覧会開催を提案して以

来、一貫して青函トンネル開通時に
おける青森市と同時開催を関係機関

に要望してきたところですが、漸く
博覧会開催基本構想（市・本所）を

まとめ、直ちに両者で道に対し基本
計画策定と、開催に向け積極的な姿

勢を要望してきましたが、その支援
方について改めて要望。

最後に、北海道の新計画基本構想
案については、国際的な北の拠点と
して道央複合都市圏（札幌を中心と

小樽、千歳、苫小牧、室蘭）を形成
し、高い水準の文化、研究開発機能

等の集積を生かして北海道全体の発
展力を高めるとしている。特に中核

都市との間に交通、情報、頭脳のネ
ットワークで結ぶとしており、函館

圏は道唯一のテクノ圏域として、海
洋関連産業群等が集積し、高い技術

集積をもって産業の高度化を図るべ
きとしていますが、その推進に当り

特段の配慮を要望。

これら本所からの要望に対し、地
元選出道議会議員、桜井、木戸浦

（自民党）輪島、萩上（社会党）の
各氏は当面の課題は多いが、地域発

展のため全力を尽す旨約束し、それ
ぞれの会議を終えました。

△四全総△は第四次全国総合開発計
画の略称。

△C・I・Q△は税関・出入国管理、
検疫の英文頭文字略称。

現滑走路の五百メートル拡張を

川田会頭ら運輸省に陳情

函館空港は現在二千五百メートルの滑走路で供用されており、年間利用者も約百万人に達し、千歳空港に次ぐ道内の主要空港です。

また、昭和五十八年十月、ICA O（国際民間航空機構）で、新東京国際空港（成田空港）の代替空港に指定されたことにより、更には千歳空港の国際空港化に伴って、外国機の飛来が増加してきており、道内における代替空港としての役割りを担うことになりました。

一方、函館圏域において民間活力を中心とした通年観光計画が進められており、今後冬期間の観光客入り込み数の飛躍的な増加、並びに国際チャーター便の就航増加傾向が予想されます。

しかしながら、当地域は積雪寒冷地で冬期間は滑走路がアイスバーンのため着陸に不安があり、大型機の通年の安全運航を図るためにもこれ

に対応できる滑走路が必要であり、現滑走路の五百メートル拡張が望ま

道新幹線の現函館駅誘致

市商連など本所に要望書

れることから、渡島支庁、函館市、本所（川田会頭が出席）函館空港ビルディング（株）が去る八月九日上京し、運輸大臣、運輸省航空局長、同省航空局次長、同航空局飛行場部長、同部計画課長に対し、その実現方について強力に陳情しました。

本所では八月二日に函館市内の商店街で組織する函館市商店街振興組合連合会（理事長鈴木武二氏）と、函館観光協会（会長鈴木武二氏）から、また九月二日に函館朝市連合会（会長守屋賢一氏）からそれぞれ北海道新幹線の現函館駅乗り入れ実現の要望書の提出を受けました。

要望書の骨子は、函館地域活性化のため①東北新幹線が青森まで開通すること②新幹線の現函館駅へ乗り入れ等について地元が一致協力して取り組むよう働きかけたものです。

北海道新幹線の建設促進は本所の最重要事業の一つであり、かねてから関係機関に対し強力な建議、具申活動を展開しているところですが、また、北海道新幹線建設促進期成会では、青函トンネルの有効利用をはかるとともに、国土開発の骨格路線を形成するため、盛岡以北の東北新幹線が青森まで延長されたときには、当面、北海道新幹線は函館地域まで乗り入れることを決議し、その実現に向け目下運動を展開しています。

このたび市商連など市内三団体の本所と市へ要望書を提出したことは、盛岡―青森間の新幹線工事の着工が決定したことで、六十三年度に開通する青函トンネルの有効活用など、客観情勢が整ってきたことから、先に運動を始めていた函館都心商店街振興組合と、正式な態度を控えていた市商連が現駅誘致運動を決めたことと、朝市もこれに対応し、道新幹線の実現と現函館駅乗り入れを決めたことによるものです。

本所は、これを踏まえ、今後積極的に検討することにしていきます。



熱い願いが込められている新幹線PR看板
(拓銀ビル)

三分科会で活発な討議

7回全道会議所婦人会交歓会

旭川市

去る八月二十六日・二十七日の両日、旭川市で第七回全道商工会議所婦人会交歓会が開催され、来賓として横路知事夫人・上川支庁長・旭川市長・地元商工会議所正副会頭が出席しました。

道内にある四十商工会議所で婦人会が設置されているのは札幌・函館・釧路・旭川・帯広と、この八月二



あいさつをする小梅山旭川商工会議所会頭

十日に設立された北見を加え六カ所となりました。

交歓会には函館の十三人を含め各地から百四十九人が参加し、今回初の試みとして、第一・二・三の三分科会に所属して、各地から提案されたテーマについて熱心に報告と討議が行われました。

内容の要点は、それぞれの地域性に基づいた行事への協力推進・親会議所の開催するセミナー等への積極的な参加・福祉事業の推進状況・例会の出席率を高めるための苦心談・広報誌作成の方法・未組織会議所への呼びかけの手順等々であり、各自の会運営の悩みに、また進路を見出すために役立つ内容でした。

交歓会終了後地元出身の作家、三浦綾子氏による「なくてならぬもの」と題した記念講演があり、交歓会の内容が一層充実されました。

旭川市の有名企業「男山酒造資料館」「ホクト電子工業」「優佳良織

工芸館」等の視察もあり、見聞を広め、実り多い交歓会を終りました。なお札幌商工会議所婦人会からの提案による。「アフリカ難民救済」の募金には参加全員が賛同し、総額八万五千九百五十円が寄せられ、札幌商工会議所を通じて関係機関に贈られることになりました。



60年度版
「金融制度の手引」発刊

このたび昭和六十年年度版「金融制度の手引」が発刊されました。

ご希望の方は本所経営指導部（中小企業相談所）において下さい。

なお、部数に限りがありますのでなるべくお早めにご来所下さい。

北海道

ホワイトミルクチョコレート

心のふれあいをおくるロマンの味

株式会社 **不二屋本店**
東京・札幌・函館

年をやや上回っており、地元建設業者の工事進捗状況も順調に推移。

(農 業)

農作物の生育状況は7月以降天候に恵まれたことから総じて順調で、なかでも水稲は昨年を引き続き豊作が見込まれている。

(漁 業)

近海マイカ漁は太平洋側では6月解禁以来不漁が続いているうえ、比較的順調であった日本海側でも魚群の北上移動が早く沿岸漁を中心に水揚げ低下をみている模様。このため魚価は前年を5割方上回る高値となっている。

(小売商況)

7月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、日曜日が1日少なかったこと等が響いてほぼ前年並みにとどまったものの、食料品を中心とした個人の中元贈答品の動きが比較的順調であったうえ、月央以降は猛暑到来やバーゲンセールの実施から夏物衣料中心に好売れ行きが続いている模様。

一方、耐久消費財では、乗用車販売は、一昨年7月の車検期間延長(2年→3年)に伴う買替え需要のずれ込みなどから低調な前年実績並み(7月中乗用車新車登録台数前年比△0.1%)にとどまったほか、家電販売も扇風機等一部夏物商品は比較的順調な動きを示したものの、

冷蔵庫等白もの商品、カラーテレビ、VTRなどが不振で、全体としては盛り上がりを欠く展開が続いている。

一方、夏場観光については、主要観光地や近郊海水浴場等への人出が前年を上回るなどかなりの賑わいをみている模様。

3. 金融事情(7月中)

○管内金融機関の実質預金は、前月末休日に伴い滞留した法人流動性預金が大幅剝落したほか、レジャー等個人の消費資金取り崩しの動きも目立ち、月中136億円減と減少幅は前年(62億円減)比拡大。

一方、貸し出しは、賞与資金、原魚買付資金等季節需資にも盛り上がりが見られないなど全般的な需資落ち着きの中で、前月末一時的に滞留した決済資金が落ち込んだため、月中41億円の減少(前年4億円減)。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は月中△0.002%と小幅低下(前月△0.022%)。

○銀行券は、前月末にかけて増発をみた公務員ボーナス・民間給与資金等が月初順調に還流したため87億円の還収超(前年同79億円)となった。

○財政収支は、租税、保険の受け入れを中心に7億円の受超となったが、受超幅は国鉄ボーナスの支給ズレ込み(前年は6月支給)から前年(受超39億円)を下回った。

以上

統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高(10店) 昭和60年7月

品 目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	3,013,616	117.3	100.8
身 回 品	492,375	99.0	94.6
雑 貨	1,056,377	121.9	102.0
家 庭 用 品	694,918	113.9	85.1
食 料 品	1,874,173	118.4	101.4
食 堂 ・ 喫 茶	194,354	108.3	98.7
サ ー ビ ス	77,549	114.2	112.4
そ の 他	330,700	153.7	110.9
総 額	7,734,062	117.4	99.5

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパースプラザ湯の川店の各店をいう。

7月

昭和60年8月28日発表

金融経済概況

日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、夏場盛業期とあって全体としては引き続き緩やかな上向き歩調を辿っている。すなわち、電子部品や飼料・魚油等が製品市況の下落に伴う採算悪化から減産強化ないし小幅減産継続を余儀なくされているものの、需要最盛期の乳加工品、段ボールがフル操業体制にあるのをはじめ、製缶機械、化学肥料でもおう盛な需要を背景に高操業を継続、また合板、珍味加工等でも減産を緩和している。この間、個人消費面では、乗用車、家電製品等の耐久消費財の売れ行きは不振が続いているが、大型小売店の売り上げは底固く、夏場レジャー関連でもかなりの賑わいをみている模様。一方、近海マイカ漁の水揚げはこのところ不冴えながら、農作物の生育は水稻をはじめ概ね順調に推移している。

金融面では、賞与資金等季節需資にも盛り上がりが見られないなど企業需資は落ち着いており、管内銀行の貸出約定平均金利も小幅低下。

2. 主要業種別動向

(造船)

修繕船受注が民間船中心にやや低調となっているものの、新造船部門では、親会社からの受注繰り回しが順調なため大型船(26千トン級、B・C船)3隻を同時建造中であり、能力一杯のフル操業体制を続行。

(電子部品)

需給バランスの大幅失調に伴う製品市況の統落から、これまでの時間外操業の原則廃止、生産ラインの一部稼働停止措置に加え、8月以降は月間2日程度の平日休業をも導入するなど減産姿勢を強め

ている。

(珍味加工)

夏場需要最盛期入りから荷動きが活発化しているうえ、ムラサキイカ漁の本格化に伴い原魚価格も採算を確保できる水準まで低下してきているため、操業度は上昇気味。

(化学)

飼料・魚油では、道東沖イワシ漁水揚げが低調で原魚手当難が続いているうえ、製品市況の低迷から依然採算割れの状態にあるため小幅減産継続。化学肥料は、2年続きの豊作期待を背景に農家筋の購買意欲が強いうえ、在庫水準もやや低目なことから、増産体制を継続。

(機械)

製缶機械は、引き合いがおう盛で年内一杯の受注残を抱えているため、引き続きフル生産を続行。合板機械は、インドネシア、中国向け輸出が比較的順調なほか、内需も汎用高級機種を中心に持ち直してきているため、操業度は引き続き上昇。

(段ボール)

馬鈴薯の豊作期待を背景に青果物向けの受注が好調なほか、乳製品、珍味加工食品向け出荷も順調なため、操業度は一段と上昇。

(乳加工品)

粉乳が依然需給逼迫傾向にあるほか、冷菓、飲料水も猛暑到来から荷動きが活発なため、フル操業を継続。

(漁網)

漁期最盛期のマグロ・カツオ旋網、イカ刺網の荷動きが順調なほか、北転船減船の影響から低調であった底曳網にも更新需要が出てきており、生産水準は幾分上昇。

(その他の製造業)

合板は、大手メーカーの減産効果顕現化に伴い製品市況が漸く底を脱しつつあるうえ、在庫調整も進捗したことから定時操業に復帰。セメントおよび生コンは、出遅れていた公共工事の着工本格化等から操業度を幾分引き上げ。

(建設関連)

管内主要官公庁の7月末公共工事発注率は、漁港、道路改修工事等を中心に前

高（ニトリ家具を除く）は、主力の衣料品が比較的順調に推移したが、もう一方の主力食料品が微減となったほか、家庭用品、食堂・喫茶で落ち込みが目立っており、四半期総額で204億8,704万円と前年同期比1.2%の微増となった。

品目別では、衣料品 81億 4,421万円（前年同期比2.9%増）、身の回り品14億9,340万円（同0.6%増）、雑貨 23億 3,079万円（同3.1%増）、家庭用品 20億 7,242万円（同 4.6%減）、食料品48億5,063万円（同1.2%減）、食堂・喫茶 5億 4,300万円（同3.2%減）、サービス 2億 1,233万円（同5.8%増）、その他 8億 4,027万円（同12.1%増）。

②新車登録台数

第1・四半期の函館管内新車登録台数は6,304台で前年同期比5.1%の減少。

車種別にみると、普通乗用車が低調に推移、4・5・6月ともに前年同期を下回っており、四半期総数では4,416台と同7.4%の減少となった。

また、低迷が続く貨物・その他では6月に久方ぶりに前年同月比がプラスに転じたものの、四半期総数では476台で前年同期より11.9%の減少。

底固い需要が続く軽自動車でも5月には前年同月を割る実績となったが、四半期総数では1,412台で同6.1%の増加となっている。

4. 雇用情勢

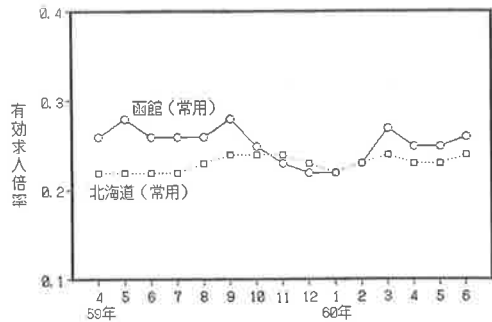
第1・四半期の函館職業安定所管内の月平均有効求職者数（常用）は7,964人で前年同期に比べ5.2%減少、月平均有効求人（常用）は1,989人で同10.6%減少し、有効求人倍率は0.25倍と前年同期より0.01ポイント下降。

また今期の新規求人数（常用）は2,097人で前年同期に比べ7.5%減少しており、月平均有効求人数に対する月平均充足数（常用）は382人で平均充足率は19.2%と前年同期より3.5ポイント上昇した。

今期の新規求人数と充足数について産業別にみると、農林・水産業では求人数8人に対して充足数4人、鉱業2人に対し充足なし、建設業477人に対し229人、製造業310人に対

し217人、電気・ガス・水道業209人に対し83人、運輸・通信業41人に対し39人、卸・小売業405人に対し192人、金融・不動産業100人に対し27人、サービス業533人に対し347人、公務12人に対し8人となっている。

図-2 雇用情勢



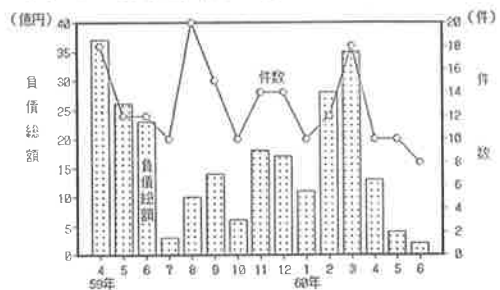
5. 企業倒産

第1・四半期における函館管内企業倒産（負債額1,000万円以上）は28件で前年同期に比べ14件減少、負債総額も前年同期比77.7%減少の19億2,100万円と一応落ち着きを見せている。また、大型倒産も4月に管工事業の大手が負債10億円を抱えて自己破産申請した1件にとどまった。

業種別では、建設業が5件で11億円、卸売業4件、2億7,000万円、小売業9件、2億6,500万円、飲食業4件、1億3,600万円、その他6件、1億5,000万円。

原因別では、業績不振16件、放漫経営6件、設備過剰、連鎖それぞれ3件づつとなっている。

図-3 管内企業倒産の推移



経済の窓

昭和60年度

函館地域の
経済動向

第1・四半期（4月～6月）

昭和60年度第1・四半期の函館管内経済情勢は、「函館どつく」が久方振りに高操業体制に移行するなど生産活動では一部活気を取り戻しているものの、公共事業関連予算の縮小や、民需の停滞ムードの中で建設活動が不冴となり、個人消費面でも乗用車販売、大型小売店販売が停滞しており、総体では足踏み状態が続いている。

これらを反映して企業の景況感も未だ表情は暗い。

1. 公共事業発注状況

昭和60年度の函館管内公共事業関連予算額（年度当初）は道、市の予算規模が前年度より縮小しており、総体で530億円と前年度を約28億円下回っている。

第1・四半期（4月～6月）までの発注額は309億5,200万円で前年同期に比べて9億2,200万円の減少、発注率は58.3%（前年同期57.1%）となった。

機関別にみると函館開発建設部が発注額161億2,500万円、発注率69.2%で前年同期（146億4,300万円、68.5%）を額、率とも上回る実績となった。【他に国庫債務負担分として61億8,200万円（前年同期63億8,800万円）を6月までに発注済み】

事業別の発注額は道路64億2,000万円（発注率68.0%）、河川3億3,000万円（同47.0%）、多目的ダム4,200万円（同41.2%）、土地改良14億1,900万円（同47.9%）、農用地8億7,400万円（同87.5%）、漁港27億9,500万円（同88.6%）、空港2億1,500万円（同75.2%）、港湾40億7,500万円（同71.2%）。

函館土木現業所では発注額が118億6,100万

円、発注率は57.2%（前年同期121億8,500万円、56.2%）。

事業別では、道路23億8,500万円（発注率45.3%）、河川9億4,500万円（同40.7%）、砂防3億6,100万円（同50.1%）、急傾斜3億6,900万円（同37.0%）、海岸5億2,800万円（同53.4%）、漁港65億8,800万円（同71.3%）、港湾災害3,500万円（同99.9%）、土木災害1億8,900万円（同100.0%）、街路下水道4億5,900万円（同50.2%）。

函館市では発注額29億6,600万円、発注率32.8%（前年同期50億4,600万円、39.6%）。

部局別の内訳は土木部4億8,800万円（発注率15.3%）、都市建設部2億200万円（同28.2%）、下水道部13億2,000万円（同49.3%）、港湾部2,400万円（同14.5%）、教育委員会4億8,100万円（同42.3%）、その他4億5,100万円（同5.0%）となっている。

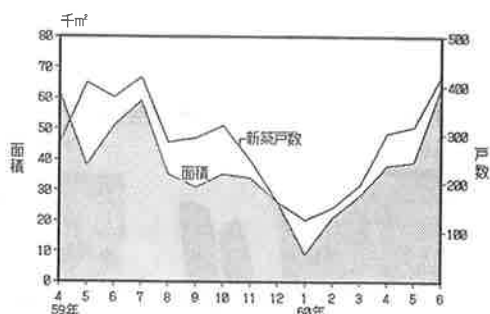
2. 建築着工状況

第1・四半期の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が141,116㎡で前年同期に比べ6.5%の減少、うち住宅部分床面積は、101,478㎡で同4.9%増加した。

また住宅総戸数は、1,262戸で同1.6%の減少、うち新築は1,036戸で同2.5%減少している。

このように、前年度はわずかながら回復の兆しをみせた建築着工状況も、今期入り後は再び前年同期を下回って、足踏み状態が続いている。

図一 建築着工状況



3. 個人消費

①大型店売上高

第1・四半期の函館市内第一種大型店売上

ヒント

榮 繁

ぴんと

成功事例に学ぶ
儲かる商売・儲かる発想法

新時代の新誠心

一人間の心理を突く

●場所のまじわり

◇情報化社会◇は◇視覚型◇ ◇分析型◇ ◇夜型◇などの新しいタイプの人間を生み出しました。そのような新しいお客様に対応してゆくためには、人間の心理、生理を深く洞察した、新しい◇まごころ商法◇を考へなければなりません。
店は◇みせる◇に通じるといわれます。◇みせる◇努力を怠っている

お店は、商品を並べている倉庫にしかすぎません。では、お客様に見ていただくためには、どのような方法をとったら良いのでしょうか。

まず、人間の着目性を高める
◇光◇ ◇色◇ ◇動き◇ ◇音◇の四つを活用する必要があります。

1 光

●蛍光灯から白熱球にとりかえた

人間は生れながらにして光に吸引せられる傾向を持っています。デパート、量販店、スーパーが照明を明るくしているのは、この人間の本能を利用してお客様を集めるためなのです。

よく、高級品や食料品の売場では、白熱球が主に使われているのを見掛けますが、これは青味がかかった蛍光灯よりも、赤味がかかった白熱球の方が商品を美しく見せ、お客様の購買意欲を刺激するからなのです。お店は光の量と光の質を吟味しなけ

れば、視覚型人間のお客様をキャッチすることが出来なくなってしまう。大改造とはいかないまでも、従来の蛍光灯に白熱球をプラスするくらいの配慮はしてほしいもの。例えば、売り出し日の一定時間だけでも、撮影用の照明器具を借りて来て、商品を照らし出すなど、いろいろ方法はあるはずです。

2 色

●ポスターを壁に張り店の雰囲気を変えた

特殊な場合を除いて、消費者の嗜好度の高い色はオレンジ、赤、黄緑、黄色といわれています。ある電気メーカーが、商品の多用化のためにブルーの掃除機とオレンジ色の掃除機を半々に製造しましたが、ブルーの掃除機はほとんど売れずに残ってしまいました。この例を見ても色の嗜好度を無視してはならないことがお分かりいただけることと思います。特に食品、日用雑貨、外食関係のお店は今申し上げた明るい色を上手に活用して欲しいものです。

町田市のある食料品店では、改装予算がなかったため、オレンジや黄緑の色が使われているポスターをメ

北海道おしゃまんべ原産



北海道特産



(商標登録出願中)

北海道生まれの 自然食品

昭和製菓株式会社

函館市東雲町19-1

☎(0138) 22-6060

「カーからもらい壁一面に貼りつけてみました。それだけでお店の感じがガラリと変わり、雰囲気も明るくなったそうです。考えればテはいくらでもあるものです。」

3 動き

●客引きに「動き」を活用し成功した人間は動くものに対して敏感に反応します。これは昔、私達の祖先が獲物を捕えたり、他の動物から身を守ったりするために必要なものでしたが現代人の血の中にも多分に残っているのだそうです。例えば、講演会で講師が話をしていて時など、会場でだれかが動いたりすると、話がどんなに面白くとも聴衆の目は講師を見ずに、会場で動いている人の方についてしまいます。

お客様のごった返しているお店に人がよけい集るのも、お店そのものの良さだけでなく、動くものに吸い寄せられてゆく本能的なものを持っているからです。薬局の店頭で動いているドリンク剤のポップ、くるくる廻る床屋さんの看板、点滅するネオンサイン等も、そういうった人間の本能をちゃんと計算に入れていきます。岡山県勝山の古いお店で、おば

あさんが時々出て来ては店の格子戸を拭いていました。おばあさんが意識していたかどうかは分かりませんが、動いていることによってお店の着目性が高くなったことは事実です。店頭にも何も動くものがなかった場合は、店の人が動くのもひとつの方法ですね。

4 音

●店頭実演で若者を動員した

大きな音がすると人間は必ずその音のした方を見ます。映画館の呼び込み、相撲のふれ太鼓、お祭りの爆竹なども、そういうった音の着目性を計算に入れたものです。

ところが、同じ音でも、リズムやメロディを持った音、つまり音楽では着目性よりも、人間の気分を支配するようになります。

早いリズム、楽しいメロディーは人の気分を高揚させ、遅いリズム、悲しいメロディーは人の気分を消沈させます。不景気な時はお店に流す音楽は明るいマーチ風のものが良いといわれるのも、理由があるのです。もし、ブルース調の音楽を流したら、お客様の気分は沈みがちになりお財布の紐もかたく締まってしま

うことでしょう。「お客様がいらっしやったら、明るく大きな声ではっきりと挨拶を」……これは商売の鉄則ですが、実は人間の音声も音楽と同じようにリズムとメロディを持っているからなのです。池袋のあるジーンズショップでは、店員が西部劇「ローハイド」の音楽を口ずさみながら、店頭を歩きまわり、若者たちの人気を集めています。BGMの設備がなかったら、店の人の声をBGM替りにし、明るく楽しいメロディを奏でてみてはいかがでしょうか。こうして考えてみると、お金をかけずに出来ることは沢山あるものなのです。

小規模店は、*「お金」*もなければ、*「人手」*もありません。しかし、*「智慧」*と*「意欲」*はあるはず

今回はその二つを武器に、したたかに闘っている何軒かのお店をご紹介します。どうぞ皆さんも、これからの敵しい八〇年代をしたたかに生き抜いて下さい。

ヤングカジュアルショップ

First Company

代表

三上健悦

FIRST CLUB
K.SHOP
Yin & Yang.

函館市本町6-17
函館市松風町5-12
函館市若松町20-1

PHONE (0138) 52-5258
PHONE (0138) 27-4209
PHONE (0138) 23-1131 (内線313)